

第2回定例区議会本会議

初

自由民主党議員団を 代表して一般質問に初登壇

一般質問骨子

質問 1 公共施設の効率的な活用を推進するため、改築や改修に向けて、今後、具体的にどのような取組を行っていくのか。

答弁 新たな組織を整備し、各施設が提供するサービスのあり方や果たすべき機能を検討する。施設の整備水準などを定め、計画的修繕を行うメンテナンスサイクルを確立する。

質問 2 公共施設の民設民営化など、一層の民間活力の活用が重要だと考えますが。

答弁 区民のニーズに的確に対応していくためには、公共施設についても、民間の力を一層活用していくことが重要と考えております。

質問 3 学校選択制を実施して10年、その総括をお聞きします。

答弁 選択制を活用した通学区域外への就学率は小学校で20%、中学校で30%とほぼ固定化しています。こうした中で各学校では、特色ある学校づくりや地域に開かれた学校づくりなどに加え、学力伸び伸びプランや葛飾スタンダードなどの新たな教育施策に全校で取り組んでいます。

質問 4 就学手続きの変更案の取りまとめに当たっての基本的考え方をお聞きいたします。

答弁 現行の就学手続きにおいて、身体的理由、教育的配慮、家庭環境などの配慮すべき個別事情を抱えた方が、学校選択が行われた後に手続きを行うため、受入枠がない場合には、指定校変更ができないという制度的な課題を解消することが、今回の就学手続きを変更するに至った出発点でございます。

質問 5 就学手続きの変更にあたっては、小学校、中学校を区別することなく、通学区域の学校に入学することを基本とするべきと考えますが、いかがお考えでしょうか。

答弁 今回の就学手続きの変更にあたりましては、小学校、中学校を区別することなく、あらかじめ通学区域の学校を指定校とした就学通知を発行することとし、個別事情についても当初の段階から取り扱えるとするともに、指定校変更基準についても小・中学校共通のものとしたところでございます。(4ページに続く)



2014年6月9日 本会議において、
一般質問をする伊藤よしのり議員